

日本医師会 生涯教育講座 (2単位 0, 4, 10)
(公財) 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師制度認定
(一社) 日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師制度認定

がん疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会
～症例から適正使用を学ぶ～

開催のご案内

厚生労働省、静岡県
(公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

厚生労働省、静岡県及び公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センターは、医療用麻薬の適正使用によるWHO方式がん疼痛治療法の全国への均てん化とがん疼痛治療の更なる向上を目指して、医療関係者にWHO方式がん疼痛治療法に関する実践的な知識を習得していただくための講習会をハイブリッド型講習会（会場参加講習会＋ライブ配信によるオンライン講習会）として下記のとおり開催いたします。

多数の皆様のご参加をいただきますよう、ご案内申し上げます。

記

1 日時 2022年10月15日（土） 午後3時～午後6時15分
2 会場 静岡労政会館・ホール 静岡県静岡市葵区黒金町5-1

3 内容

コーディネーター

静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科 部長 佐藤 哲観 先生

- (1) 講演 「がん性疼痛治療における投与経路の選択肢」
佐賀県医療センター好生館 緩和ケア科 部長 小杉 寿文 先生
- (2) 講演 「緩和薬物療法における薬剤師の役割と服薬指導の実践」
静岡県立静岡がんセンター 薬剤部 主任薬剤師 田中 怜 先生
- (3) 講演 「在宅疼痛緩和における医療用麻薬の使用」
医療法人あしたば会 富士在宅診療所 院長 新井 康隆 先生
- (4) 講演 「医療用麻薬の適正管理について」
静岡県健康福祉部薬事課薬物対策班 専門主査 柳 尚仁 先生
- (5) 質疑応答パネルディスカッション
まとめ 静岡県立静岡がんセンター 緩和医療科 部長 佐藤 哲観 先生

4 対象者 医療関係者（650人） ※会場定員（150人）、オンライン定員（500人）

5 参加費 無料

6 主催 厚生労働省 静岡県 (公財) 麻薬・覚せい剤乱用防止センター

7 後援 (一社) 静岡県医師会 (公社) 静岡県薬剤師会

8 協賛 麻薬生産者協会

(救急薬品工業、協和キリン、塩野義製薬、第一三共プロファーマ、住友ファーマ、武田薬品工業、帝國製薬、テルモ、東和薬品、日本臓器製薬、久光製薬、藤本製薬、丸石製薬、ヤンセンファーマ、祐徳薬品工業)

9 参加申し込み

麻薬・覚せい剤乱用防止センターホームページよりお申し込みください。

10月13日（木）まで受け付けます。

10 会場参加における留意事項

1) 新型コロナ対策として、検温、マスク着用、ソーシャルディスタンスの確保、換気等の対策を講じることとしております。

2) 開催2日前にQRコードを記載した会場受付用メールをお送りしますので、プリ

ントアウト又は画面表示により当日の受付を行います。なお、下記3) に該当する方を除きます。

- 3) 日本薬剤師研修センターの研修受講単位の交付を希望される方は、薬剤師研修・認定電子システム (PECS) に登録後、各自の「薬剤師メニュー」の「QRコード」を印刷して会場に持参し、受付時と終了時の2回読み取りを行ってください
- 4) 日本緩和医療薬学会の単位は、当日の受講履歴及び学会・会員番号等を確認の後、学会LMS事務局よりシステムに登録されます。

11 オンライン講習会の留意事項

- 1) WEB会議ツールとして「Zoom」を使用します。
- 2) 開催2日前に講習会参加用URLを記載したオンライン受付用メールをお送りします。
- 3) 日本薬剤師研修センター研修受講単位の交付は、交付希望者ごとに当日の受講履歴を**視聴ログ**で照合し、その後、受講確認用キーワードの確認を行った後「単位交付対象者リスト」に搭載し、当該リストを薬剤師研修センターに報告します。
- 4) 日本緩和医療薬学会の単位は、当日の受講履歴を**視聴ログ**等で照合した後、学会・会員番号等を確認の後、学会LMS事務局よりシステムに登録されます。

12 お問い合わせ先

公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター (原田、白井)
電話 03-5544-8436